

## 人口 150 万人を超えた 川崎市の将来に向けて

今、行過ぎた自国第一主義や民族至上主義などが世界を席卷し、過剰なポピュリズムは闇となって世界中に拡がりつつあり、人々は漠然とした、或いは、確たる不安を抱えています。このような時代を背景として、今年、本市は人口150万人を突破し、新たな領域へと進みました。

発展と課題は表裏一体です。着実に人口減少社会は到来し、総人口のピークと生産年齢人口、老年人口、年少人口のピークの違いによる「歪み」の政策的な解消は必須であり、また人口の更なる高密度化による災害リスクは極めて高くなります。現状を客観的に考察すれば、日本及び川崎市が置かれている状況はもはや有事であり、未体験の喫緊の課題が山積しています。

古き皮袋に新しい酒は汲めない、という賢人の諺がありますが、このような時だからこそ、寛容の心を芯に据え、前例に捉われぬ勇気と英知を結集し、新しい領域へ進む事こそ、150万市民の付託に応える術であると考えます。自民党立党の精神「政治は国民のもの」に則り、闇の中の光を見据えつつ、自由で民主的で平和な川崎市を創造することを旨とし、代表質問を致しました。

今年4月で、川崎市は人口150万人を突破しました。今までは、2030年をピークに約152万人まで増えていくとありましたが、今回、将来人口推計が改めて公表され約158万人と発表がありました。

そこで、何故推計調査の差が出たのか、150万都市をどのように発信していくのか、記念事業の具体的な内容について伺いました。

答弁では、平成27年の国勢調査結果において、前回推計を上回り若い世代を中心とした転入人口が増加している。150万人を突破した今を、これまでの川崎が培ってきた「成長力」と「多様性」を活かし、本市の多彩な魅力を発信していく。記念事業としては、川崎フロンターレ市制記念試合で150万都市記念のピックフラッグを掲出、花火大会や市民祭りにおいてもアーカイブ映像を活用した動画によるPR等を予定していると、ありました。

我々、自民党市議団は、人口増は税収増につながるが、市内拠点駅周辺は、人口増に耐え得るインフラ整備は充分ではないと考えます。今後も必要な施策を提案し、実行に移して参ります。

川崎市（全市）将来人口推計結果



### 認知症対策

平成27年で約3万人の認知高齢者は、平成37年に約4万3,600人に増加すると代表質問において明らかになりました。

様々な視点から質問した所、在宅療養者の家族の不安、負担の軽減や一体的な支援体制の構築が課題。川崎市医師会を始め医療・介護関係団体で構成する川崎市在宅療養推進協議会を通じ、支援体制の構築に取り組んでいる。認知症の早期発見・対応に向けた支援として、DASC事業は来年度から全区で実施する。公共交通機関に対する支援要請や、「認知症あんしん生活実践塾」を開催するなど、当事者の視点に立った支援強化をしていくとの答弁がありました。

これに加え、再質問、再々質問では、いわゆる独居老人に対して、地域住民組織では対応しきれなくなっていく。認知症予防としての口腔ケアの充実強化策等するべきではとの問いに対し、いずれも前向きな答弁をいただきました。

引き続き認知症対策に取り組んで参ります。

### 待機児童対策

人口が150万人を越え、若い世代の流入も進んでいます。急激な人口増加地域やその付近の主要駅周辺では、地下高騰等で保育事業者の参入が控えられています。これらの問題に対してどのような整備を進めているのか、また保育士確保への取り組みを伺いました。

保育所の整備では、定員枠の拡大に向け民間事業者活用型整備事業において、保育需要が増大する主要駅周辺など交通利便性が高いエリアを重点整備地区に指定し、鉄道事業者の協力のもと、鉄道用地を活用した整備を積極的に進めている、また今後については新たな人口推計や保育需要の見込みを勘案し進める旨の答弁がありました。

また、保育士の確保では、就職相談会・体験バスツアー・保育士試験対策講座の開催などを通じ、各保育事業者が新たに必要となる保育士を確実に確保できるよう支援していくとの事です。

引き続き、子育てしやすい街・川崎市の実現を要請して参ります。



## 特集

# 川崎の文化財を PR する場の創出に向けて

## 学校給食における 地産地消の取組について

## 川崎市青少年の家 設備老朽化対応について

みなさんこんにちは。川崎市議会議員（宮前区選出）の矢沢孝雄です。1期4年の任期も折り返しを迎え、定例会毎に作成してきた「矢沢たかおNEWS」を若干リニューアルしました。No.9では、6月5日～28日まで開催された市議会第2回定例会と日々の活動についてご報告致します。今後も継続して皆様からの意見を頂き、市政に反映できるよう尽力して参ります。



## 矢沢たかお プロフィール

● 昭和60年8月28日、川崎市宮前区初山に生まれる（31歳）● 川崎市立菅生小学校 卒業・川崎市立菅生中学校 卒業・法政大学第二高等学校 卒業・法政大学情報科学部コンピュータ科学科 卒業 ● 平成20年4月 伊藤忠テクノソリューションズ（株）入社・平成26年7月 政治活動に専念するため同社を退社・自由民主党公認 宮前区市政政策委員・平成27年4月 川崎市議会選挙（宮前区）初当選・平成29年4月まちづくり委員会・農業委員会 ● 剣道 四段、空手 二段、書道・毛筆三段 硬筆二段



## しっかり聴く市民相談所

市民相談お気軽にお問い合わせください！

矢沢たかお事務所・・・神奈川県川崎市宮前区初山 1-20-12

電話 044 - 976 - 2727

FAX 044 - 976 - 8686

※メールアドレスを変更致しました。  
(新) mail@yazawa-t.info

矢沢たかお 検索  
http://www.yazawa-t.jp/  
twitter facebook



# 第2回定例会一般質問 3 項目



## 1 学校給食における地産地消の取組について

**Q** 自校方式4校で先行している中学校給食における市内産農産物の使用状況と、本年中にスタートするセンター方式学校に向けた統一献立への使用に向けた取組状況を伺います。

**A** 本年1月から完全給食を開始した4校では、給食初日に人参、大根、白菜、小松菜、長ねぎを使用した「かわさきそだちの野菜スープ」を提供。その後も市内産、ブロッコリー、ほうれん草、のらぼう菜、キャベツ、きゅうり、じゃがいもを使用。今後も可能な限り市内産野菜の使用に努める。加えて、センター稼働後の統一献立については、現在関係局及びJAセレサ川崎との協議を行い、毎月1回程度、統一献立で使用できるよう調整を進めている。(※一部抜粋)

**Q** 学校給食への市内産農産物の提供をさらに加速させる為には、市内生産者の関心が高まるような施策が必要だと考えますが、見解を伺います。

**A** 学校給食への食材提供は、必要量に対して計画的に栽培を行う事で全量買い取りとなり、安定的な販路が確保される。生産者においては、従来の販路と学校給食用の販路を組み合わせることで、より農業経営の安定化に結び付くと考えている。



JAセレサ川崎とも連携し、説明会や農業者関係会議、広報誌などを活用し積極的に理解促進に努めていく(※一部抜粋)



### 進んでいます！学校給食 x 都市農業

昨年の定例会では、学校給食への市内産農産物の使用に関する目標を定めるべき！と訴え、本年3月改訂の第4期食育推進計画に「市内産の農産物を中学校給食の統一献立で使用するなど、地産地消の取組を進めていく」と記載されました！そして、4月以降も順調に市内産の農産物活用が進んでいます。さらに今回の答弁では、中学校給食センター稼働後は毎月1回程度、統一献立で使用していきたいという意向が示されました！

**教えて！？統一献立って何？**

川崎市内全中学校で提供される給食献立の事です。1日に約3万食が給食センターから各学校へ配送されます。

## 2 川崎市青少年の家設備老朽化対応について

**Q** 昭和63年に設立し、宮前区の青少年社会施設として、年間852団体、2万4千人以上が利用する本施設の老朽化が著しい状態となっています。特に53部屋ある施設の内、46部屋を占める全館空調設備に至っては、長年に渡り利用者からも改善要望があったにもかかわらず、具体的な改善が進まず、直近では、本来であれば5月下旬から10月中旬まで使う冷房空調が故障により動作しないという障害も発生しました。緊急修繕の結果、何とか再稼働に至りましたが、全館空調設備に対して、更新や大規模修繕が必要な状況と考えます。見解を伺います。

**A** 業者による空調設備の点検は年4回実施しているが、従前からいくつかの指摘や報告があった。特に平成28年5月の点検結果においては「各部品に著しい劣化が見られるため、冷温水発生機(全館空調設備)の更新が必要」と業者からは報告があった。直近の障害を含め、この度の設備状況から、多額の修繕費が見込まれるが、大規模修繕を視野に入れることも必要な状況と捉えている。



### 実際の利用者からの声があり調査！！改善に向け提言！



施設としては設立から約30年が経過。本市が定めている本施設の耐用目標年数は60年で、今回問題となった冷温水発生機は20年。設備状況を見て、長く使う事自体は否定するものではないですが、利用者からの声や実際の設備状況を鑑みたとき、一刻も早い対応が必要であることを訴えました！

# 特集 川崎の文化財をPRする場の創出に向けて

～文化財展開催が困難な川崎市市民ミュージアム!?～

川崎市には平成29年4月1日現在、有形無形あわせて国指定文化財:16件、神奈川県指定文化財:27件、川崎市指定文化財:111件、国登録文化財:4件、神奈川県選択無形民俗文化財:1件、計159件の文化財があります。ですが、これら多くの文化財を直接目にする機会が乏しいのが現状です。川崎市が誇る博物館と美術館の複合施設である「市民ミュージアム」は、平成24年まで重要文化財を用いた企画が行いやすい文化庁公開承認施設でした。

## 文化庁 公開承認施設とは！?

重要文化財等の公開にふさわしい施設を文化庁長官が「公開承認施設」として認定するもので、承認を受けると、企画展における公開手続きが簡素化されると共に、作品の応急修理費、梱包・輸送費、出品者への謝金を国に申請することができるとなります。市民ミュージアムは平成24年度まで承認を受けていましたが、空調設備更新に係る手続きの不備で公開承認施設から外れてしまったという経緯があります。

平成24年度以降、市民ミュージアムで、重要文化財等を活用した展示会が、開催し難い環境に...

## 川崎市の今後の取組は！?

本市は、今のままの市民ミュージアムで良いと考えているのでしょうか？本定例会でこの事を取り上げた際、市民文化局長からは「文化庁の公開承認施設の承認を受けるためには、重要文化財を適切に公開する展示会を、5年間に3回以上開催することが、申請するための条件の一つとなっているので、今後、教育委員会や、市民ミュージアム指定管理者と調整・検討していく」との答弁がありました。

## 過去にはこんな取組も！！

## 市政70周年記念企画展「川崎の文化財展」！！

市政施行70周年を記念し市民ミュージアムで企画されました。慶應義塾大学所有の国宝秋草文壺をはじめ、宮前区内からは影向寺の重要文化財・木造薬師如来両脇土像、市重要郷土資料である初山獅子舞の獅子頭、白幡八幡大神に伝わる市重要習俗技芸・禰宜舞の神楽面など有形文化財を展示した他、民俗芸能の実演会も開催されました。



江戸時代初期のものとして推定されている初山獅子舞の獅子頭 ※市提供資料

川崎が誇る多くの文化財を市内外に知ってもらう為に、市民ミュージアムを活用する提案を続けていきます！



文化財を扱っては梱包・輸送費の大変な作業です(当時の様子) ※市提供資料

# Blog 人気記事 ランキング

## 1 位

川崎縦貫鉄道計画休止(H27)から廃止前提(H29)へ



## 2 位

「川崎市人口推計」2030年ピークで158万人！嬉しい!? 苦しい!?

## 3 位

安全安心な学校給食に向けて！川崎市健康安全研究所を視察！



詳しくはホームページからご覧下さい。

矢沢たかお 検索

## 日々、どういった活動をしているの!? 矢沢たかおの

# 日々の活動

活動の一部を写真で紹介！

2017 4月 ▶ 2017 7月



とんもり谷戸雨水管整備



宮崎配水塔耐震化に伴う工事現場の視察



大規模道路整備案件



九州北部豪雨被災地応援のための募金活動は、川崎駅と鷺沼駅で実施



横浜市議会との政務調査勉強会の様子



主権者教育ハイスクール議会への協力



体験型農園での農作業の様子



第21回平瀬川さくら祭り



平成28年度活動報告会を実施